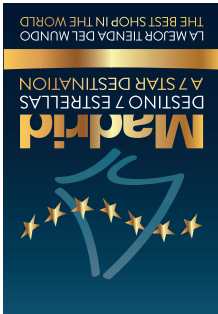




마드리드 쇼핑 가이드



マドリードのショッピング体験&免税



アプリをダウンロードして、必要な情報を見つけてください



ANDROID APP ON Google play



Download on the App Store

または、ウェブサイト
madrid-shops.com/ja をご覧ください



...でのショッピング

> 旧市街

首都マドリードの最も象徴的で、伝統的で、美しいエリアの主な魅力の一つは、豊富にある商店です。その要であるマヨール広場は、製銅業、布倉庫、靴製品店、宗教用品を扱う店から、最高品質の帽子や靴店まで、マドリードで最も古い店が軒を連ねる中心地です。また、フラメンコやスペインの本物の楽器の専門店も見逃しません。歩いて数分のところにあるラス・ロハ、毎週日曜日と祝日に開かれるマドリードの大規模な青空市場で、400年の歴史があります。ここでは、骨董品やコレクション品、奇妙なオブジェなどの宝物が販売されています。



週の残りの時間は、観光客に最も人気のあるショッピングエリアは、プエルタ・デル・ソルから、有名なデパート、ファッションブティック、前衛的なメガストア「TWOXコンセプト」のあるプレシアドス通り、カルメン通り、グラン・ヴィア通りまで広がっています。有終の美を飾る歴史的建造物群であるガレリア・カナレハスには、アールデコ調の堂々としたガラス窓の下に、現在は主要な国際的高級ブランドとグルメ空間が並んでいます。

> チェウカ、マラサーニャ、サレサス

プレバレスとグラン・ヴィア通りの間、レコレトス地区とプリンセサ通りの間には、アバンギャルドな活気と地元の習慣の魅力が融合した3つの地区があります。サレサス地区は、市内で最もエレガントなエリアのひとつで、高級ブティックや親切なスタッフ、アートギャラリー、シグニチャー・カクテルバーが軒を連ねています。



さらに東のマラサーニャでは、トップスターと若いデザイナーが共存し、グラン・ヴィア通り、フエンカラル通り、コレダ・デ・サフパロ通りに囲まれた商業トライアングルであるトライボールに命を吹き込み、まるで映画の舞台から抜け出したかのように趣のある美しい街です。そして、この2つのエリアのちょうど中間には、マドリードの有名なLGTBI+地区であるチェウカがあり、その伝説的な通りはオルタナティブファッションと多様で開放的なレジャー施設で占められています。

> パリオ・デ・ラス・レトラス

スペイン黄金世紀に、セルバンテス、ケバード、ロペ・デ・ベガ、ゴンゴラといった著名な作家たちが住み歩いたこの通りは、今日でもボヘミアン精神に溢れています。これらの通りでは、皮革製品店、仕立て屋、陶磁器などの工芸品工房や祭式を営む店が、アンティークショップ、本屋、銀細工店、弦楽器店、食料品店、装飾品店などのヴィンテージ感あふれる空間と共存し、独特の雰囲気を感じ出しています。

> サラマンカとレティーロ

一流ブランドやデザイナーが店を構えるサラマンカ地区では、華やかさと高級感が融合しています。セラーノ通りとホセ・オルテガ・イ・ガセット通りで知られるゴールデンマイルは、国際的なファッション界のクラシックとコンテンプトリアリーのトレンドを展示する高級なキャットウォークに似ています。洗練された雰囲気がこの地区の本質であり、第41区はマドリードで訪れるのに最適な場所でも、最も厳選されたショッピングとレジャーエリアです。ここには、スペイン発祥のブランドを含む主要なファッションブランド、デザイナーショップ、高級ブティックが軒を連ねています。また、第41区は、高級レストランから居心地の良いカフェやカフェまで、幅広い食の選択肢を提供しています。様々なバーやクラブがあり、マドリードに滞在するには理想的な場所です。ここに加えて、マドリードの偉大な歴史的公園であり、緑地帯の一つであるレティーロが近くににあります。

> アルガジェス

この地区の美しさは、オエステ公園ののどかな景色や森、映画館やショップが立ち並ぶプリンセサ通りと近くの学園都市に毎日行き交う学生たちの絶え間ない賑わいのコントラストにあります。このエリアでは、伝統的な市場や商店でも、アルベルト・アギレラ通りの交差点にある近代的なファッションブティックやデパートでも、文字通り何でも見つけることができます。

> アスカ

スーパーブロックとしても知られているこのエリアは、マドリッドの金融の中心地であり、最大かつ最も近代的な国内外の主要チェーン店が軒を連ねています。百貨店は商業的な供給を補足し、あらゆるショッピング需要を解決し、レストランやナイトライフの選択肢に加えることで、このエリアをマイクロシティの一区画に変え、ますます歩行者が増え、活発になっています。

カスティージャ広場の反対側には、クアトロ・トーレス・ビジネス・エリアのビジネスセンターがあり、その象徴的なスカイラインは街のどこからでも見られます。そこに、新しい高級ショッピング街やレストラン街も急増しました。

7つの最高級ショッピングルート

① スペインのファッション

卓越したスペインの才能は、美食、スポーツ、音楽、映画などの分野で国際的に認められています。さらに、スペインの歴史と芸術に彩られた豊かな文化は、世界中のデザイナーにインスピレーションを与え、スペインの美と創造性を反映した衣服を生み出しています。従って、スペイン、ファッション、名声は、3つの概念が相互に絡み合っています。キャットウォークでのデザインから大手チェーン、現地の素材を使った地元ブランドまで、スペインのファッション産業は唯一の文化表現です。



② 国際ブランド

マドリードの街は、最も魅力的で豪華、そして同時に便利なショッピング体験を提供しています。一流の国際ブランドはすべて、市内中心部に多言語対応スタッフのいるブティックを構えており、その多くは互いに至近距離にあり、ホセ・オルテガ・イ・ガセット通り周辺の散策を楽しめます。もうひとつの利点は、ここでは世界の大半の首都よりも価格競争力があることと、免税条件が特に優れていることで、最終コストがどちらも驚くほど安くなります。



③ アクセサリーとジュエリー

ふさふさい確かな評価があります。スペインは、丁寧な職人技の伝統、卓越した皮革の品質、そして魅力的な価格のおかげで、天然皮革の靴やアクセサリーを購入するのに最適な旅行先のひとつに挙げられます。新しい靴を探している方は、首都に点在する数多くの靴の専門店で、快適で飽きのこないデザインからモダンなデザインのものまで見つけられるでしょう。



革の他にも、シルクはスペインのアクセサリーに欠かせない要素であり、プリント柄のスクarfは夏でも冬でも適していて、常に人気です。ジュエリーの分野では、プラダ美術館やマドリッドの歴史的なギャラリーを訪れたことのある美術愛好家なら、スペインのジュエリーの伝統が中世にまでさかのぼることに気づくでしょう。現代のジュエリーデザインは、何世紀にもわたり受け継がれてきた職人技を現代の作品に適用させることで、それ自体が芸術作品の域に達しています。

④ 美容

美容とパーソナルケアの愛好家にとって、マドリードはまさにパラダイスです。街中の香水店や化粧品店は、まるでエデンの園の一角のようです。オリーブオイルはその優れた品質により、フェイスケアやボディケア用の数多くの天然製品のベースとして使用されています。この地中海の恵みには、美しさ若さの秘密があるようです。さらに、香水や化粧品の種類は、子供の頃を思い出させる香りの伝統的なブランドから、国際的なブランドの革新的な調合まで多岐にわたります。これらの店の多くは、非常に治療効果の高い美容や疲労回復のトリートメントも提供しており、マドリードの有名な美容室でヘアセットと同時に試してみることが可能です。

⑤ 市場とグルメ

マドリードの市場ほど現代的であると同時に、本当に伝統的なものはありません。それらは、新鮮で手頃な価格の地元産の食材を手に入らせる持続可能で人間的なショッピング体験への回帰を可能にする、いつも利用できるタイムカプセルのような機能を果たしています。これだけでは十分ではないかのように、近年、市場は豊かな変化を遂げており、あらゆる分野と年齢のマドリードっ子が集う決定的な場となっています。現在では、日常の買い物を中心とした露店に加え、デリカテッセンも豊富で、市場から仕入れた食材を使ったバルやレストランも数多くあります。

美食の市場	
サン・ミゲル市場	ババセロ市場
サン・アプトン市場	チャマルティン市場
バジェエルマヨ市場	サン・フェルナンド市場
アプトン・マルティン市場	セバダ市場
ラ・パス市場	ティルソ・デ・モリーナ市場
ラス・ベントス市場	プロスベリダ市場
チャパバリ市場	マラセージャ市場
ロス・モステンセス市場	イビサ市場



⑥ 年代物の商店

マドリードの建築物や都市計画を鑑賞しながら街を歩くと、100年前の街の生活を思い描くことができます。しかし、私たちが過去に没入させてくれるのは、時の流れや生活様式の変化に挑みながら、今もなお現役で営業している何世紀も前のお店に足を踏み入れることです。贈り物、家庭用衣類、布靴、ファッション、装飾品、薬局、金物店、弦楽器店、食料品店など、マドリッド中の人々に高く評価されているこれらのお店の特色は、それ自体が魅力的な体験であるだけでなく、これらのお店で購入できる商品は、その美しさ、品質の高さ、耐久性により、非常に優れています。

全ルートはこちらでご覧いただけます：
📍 madrid-shops.com/ja/comercios/1/5/n-a

⑦ ギフト、ヴィンテージ、アート

甘党の人にはキャラメルやトルロフ、民話好きな人には扇子やマントーラ、特別な環境を作るのが好きな人には陶器や織物など、マドリッドでは大切な人への完璧な土産探しを楽しめます。



本物のデザインに加えて、古い物を追求するなら、特に洋服はマラサーニャの古着屋、家具やオブジェはラバビエスやラティーナのりサイクル品店でも探しのものが見つかるでしょう。芸術に関しては、マドリードは近現代の作品でよく知られています。サラマンカ、サレサス、ラス・レトラス、ラバビエス地区を中心に、日々、いつでも無料で開館するアートギャラリーが増えています。

ミシュランガイドの星付レストラン

ミシュランガイドが世界最高のレストランに星を与える基準は、食材の質、味の調和、優れた技術、シェフの創造性、時間をかけた定期的な提案の5つです。マドリードは、ミシュランの星を獲得したレストランが数多くある一流の美食の地です。マドリードのシェフたちは、受賞歴を守るために日々細心の注意を払い、他に類を見ない美食体験を提供しています。



ミシュランガイドの星付レストラン	
Gaytán Madrid	Saddle
DiverXO	El Invernadero
La Tasquería	Clos
Ugo Chan	Lúa
A'Barra	Deessa
Zuara Sushi	DSTAGe
Ramón Freixa	Yugo
Ricardo Sanz Wellington	Gofío
Smoked Room	Paco Roncero
RavioXO	C. Moreria Gastronómico
Coque	Chirón
Quimbaya	Montia

> 老舗レストラン

マドリードの老舗レストランでは、古き良き時代の雰囲気と最高のカスティリャ料理が、毎日提供されています。何世代にもわたり、ポトフ、煮込み料理、ロースト料理、トリッパ、トルティヤ（スペインオムレツ）などで食卓を囲み楽しまれてきた事と、その味わいにも心を揺さぶられます。良い料理と良いワインのように良い伝統は、長い時間をかけて根付き、受け継がれるのです。マドリードの伝統的なレストランの中には、1642年から営業している世界最古のレストラン、ボサダ・デ・ラ・ヴィアがあります。



老舗レストラン	
Restaurante Botín	La Bodega de la Ardosa
Café Gijón	La Casa del Abuelo
Casa Alberto	Los Galayos
Casa Ciriaco	Lhardy
Casa Labra	Malacatin
Casa Pedro	Posada de La Villa
La Bola	Taberna Antonio Sánchez

> マドリッドの味

美食の市場：マドリッドでは、料理やワインを楽しめる賑やかな食通が通う市場から、タペオの根深い伝統まで、食の楽しさを日常的に体験できます。



タペオ：マドリードのタペス文化は有名です。飲み物に少し（またそれほど少量ではない）の料理を添えて、一日中いつでも楽しむのは、マドリードの不变の習慣です。市内には、タペオに敬意を表する居酒屋、市場、ビストロ、ガストロバルがない地区はありません。この習慣が夕方に行われる場合、陽気な食後のひとときを楽しんだり、夕食前の美味しい軽食を楽しむ「タルデオ」として知られています。



味の貯蔵庫：マドリードでは、美食家のための様々な料理や高品質の製品が幅広く提供されています。旬の時期には、アラフフェス産のアスパラガスやイチゴがおすすめです。それ以外の期間は、D.O. ヴィノス・デ・マドリードのワイン、チーズ、クラフトビールがおすすめです。グラマラ山脈の保護された地理的表示のある肉を使用した伝統的なセラーナ料理、通りに甘い香りを漂わせる伝統的な菓子などは、首都の豊かな美食のパレットの中のほんの一部にすぎません。

ホテル

国際色豊かな都市がもたらす活気に満ちた体験と同じくらい重要なのが、休息とくつろぎの場所です。マドリードのホテルは、忘れられない滞在をお約束するために、あらゆる要望に対応しています。これらのホテルは、一般的に歴史的中心地であるグラン・ヴィア、またはサラマンカ地区などの最も高級な場所にあります。個性的な建物を利用した魅力的なブティックホテルでは、より親密でパーソナライズされた滞在が可能です。

ユネスコの世界遺産に登録されているこの地域では、細部にまでこだわった洗練された田舎の宿泊施設が、ババドール・デ・アルカラ・デ・エナーレスやババドール・デ・チンチョンなどの魅力的なホテルに加わります。

全ホテルの一覧はこちらでご覧いただけます：
📍 madrid-shops.com/ja/comercios/1/7/ホテル

実用的なアドバイス

🕒 営業時間	📦 購入品の配送
ほとんどの店の営業時間は10時～21時です。但し、必要であれば、深夜まで、または24時間営業のスーパーを見つけたるは簡単です。	スペイン国内外を問わず、多くのショッピングが便利で実用的な配送サービスを行っています。

TAX FREE	🛍️ チップ
免税の手続き スペインでは、非EU加盟国の旅行者は、購入品に対するVAT還付を申請でき、平均で16%の割引が適用されます。還付システムは迅速かつ簡単で、最低金額はあります。検証はDIVA（税金還付自動認証）システムを通じてデジタル形式で行われます。更に詳しい情報： 📍 madrid-shops.com/jp/tax-free	チップは、ホテル、タクシー、宿泊施設などの一部のサービスでは一般的な慣習です。チップは義務ではありませんが、通常、従業員のための特別手当であり、良いサービスに対する謝意と見なされます。いかなる場合でも、チップを要求されることはありません。

💰 値切り交渉	🔄 両替
お店では値段が決まっていますが、通常は値切り交渉はできません。しかし、蚤の市やフリーマーケットでは、売り手が販売成立のために価格交渉に応じるので、値切り交渉が一般的に行われています。	マドリッドで両替所を見つけるのは難しくありません。市内、特に中心部には多くの両替所が点在しています。

🚇 クレジットカード	🚇 地下鉄でのショッピング
スペインのほとんどの店が、Visa、MasterCard、American Express、Diners Club、China Union Payなどの主要クレジットカードに対応しています。	マドリードの地下鉄は、ショッピングをする際に市内を移動する最も快速で効率的な手段の一つです。地下鉄を利用するには、公共交通カード（TTP）が必要です。TTPは、地下鉄のどの駅でも購入でき、チャージすることができます。更に詳しい情報はこちらをご覧ください 📍 metromadrid.es/en

🎟️ パーゲンセール	📍 観光案内所
1年を通して、お買い得品や特売がありますが、パーゲンセールは節約的たり、掘り出し物を手に入る良い機会です。スペインでは、伝統的に冬（1月1日～2月28日）と夏（6月21日～8月31日）に、2つのパーゲンシーズンがあります。	マドリッドでのショッピングの詳細については、市内の象徴的な場所にある観光案内所で案内しています。すべての情報はウェブサイト turisomadrid.es/en でご覧いただけます。

> アランフェス

首都から545km離れたアランフェスは、ローマ時代にまで遡る豊かな歴史を湛えたタホ川の水に囲まれた街です。現在ユネスコの世界遺産に登録されている王子の庭園、ラ・イスラやバルテシ庭園を散策すれば、ブルボン家が春の離宮としてこの場所を選んだ理由が分かりますでしょう。スペイン最大級の堂々たる王宮は、フランス式と英国土の美しい庭園に囲まれています。カサ・デル・ラブラドルと闘牛場も見所のひとつです。

アランフェス・デ・アパストス市場で入手できる畑の新鮮な農産物に加え、この地域には、パーティやイベントに特化したエレガントなブティック、ジュエリー、織物、履物、ブルメ製品があり、ソナ・セプトロ、フォロ・モレラス、エル・デレイタ・ショッピングモールなどの地域で販売されています。土曜日には蚤の市も開かれます。

行き方 | 電車 - セルカニヤス路線 (Cercanías)。C-7線、C-2線。
バス - アメリカ大通りのターミナル駅から。



> アルカラ・デ・エナレス

「近世スペイン発祥の地」と呼ばれるこの地は、ミゲル・デ・セルバンテスの生誕地として世界的に知られています。彼はここで勉強し、処女作『ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ』を執筆しました。また、彼のニックネームは、1499年に設立されたスペインで最も古い大学の一つである大学の名前由来し、アフトニオ・デ・ヌブリハ、シスネロス枢機卿、マヌエル・アサーニャなどの著名人がここで学んだことにも因んでいます。

アルカラ・デ・エナレスの旧市街では、12世紀のゴシック様式の大聖堂、ルネッサンス様式の回廊、サン・イルデフォンソの礼拝堂、大司教宮殿などが見られます。1998年に世界遺産に登録され、観光客は、カラムルがケアーモンド、ロスキージャス (ドーナツ)、グレメグリス、織物、手工芸品などの代表的な製品を素晴らしい土産として購入できます。主なショッピングエリアは、ソナ・セプトロ、カジェ・マヨールとその周辺エリア、レジェス・カトリコス通り、フアン・デ・オーストリヤ通り、ショッピングセンターのアルカラ・マグナ、エル・バル、ガレナ・ブラリッパなどがあります。

行き方 | 電車 - セルカニヤス路線 (Cercanías)。C-7線、C-2線。
バス - アメリカ大通りのターミナル駅から。



> サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル

1562年、国王フェリペ2世はスペインの首都をトレドからマドリッドに移し、グアダラマ山脈にエル・エスコリアル修道院と離宮の建設を命じました。この街は、美しい自然の景観に囲まれた素晴らしい芸術遺産で際立っています。エル・エスコリアル修道院は、スペイン・ルネサンス期の主要なモニュメントのひとつで、エレナ様式で建てられています。博物館には、エル・ボスコ、エル・グレコ、ベラスケスなどの作品を始めとする重要な美術品のコレクションが収蔵されています。この複合施設は、バシリカ、パフテオン、王の中庭、宮殿、王立図書館、チャプターハウス、庭園で構成されています。

この街では、5世紀前のフェリペ2世の意向により、新鮮な山の空気と宮廷の雰囲気を感じることが出来ます。特産品には、グアダラマ山脈の肉、豚蹄め、お菓子、骨董品などがあります。主な商業エリアは、フアン・デ・レイバ通り、ピクトリア女王通り、フロリダブランカ通り、レイ通り、市営市場、エル・ザブルドファッションセンターなどがあります。

行き方 | 電車 - セルカニヤス路線 (Cercanías)。C-3線。
バス - モンクローアのターミナル駅から。

